



▲会社の壁に阿蘇の花と五岳くんと火の子ちゃん!

皆さんの元気は阿蘇市の元気!
阿蘇市の元気は、九州の元気!

元気

阿蘇市を観光地にふさわしい好感の持てるまちにするために、今年1月から、東京の(株)ANA総合研究所からの派遣で、地域振興マネージャーとして活動している前田香保里さん。前田さんにこれまでの活動や取り組みについて報告いただきました!

こんにちは。阿蘇市地域振興マネージャーとして仕事をしております前田です。

平成23年1月から阿蘇市商工観光課に月に5日間、滞在して活動を始めています。

すでに9月で9回を重ねました。月に5日ですので、延べ日数では1ヶ月半程度ではありませんが、毎月訪れる度に阿蘇の新たな魅力を感じています。まだ一年を経過していませんので、阿蘇の全ての季節を体感していませんが、四季の移り変わりに応じて変化する阿蘇の雄大な景色、そして、阿蘇市のそれぞれのまちの持つ素晴らしいさに感動しています。毎回すべてを回れるわけではありませんが、なるべく滞在している間は、阿蘇市全域を繰り返し訪れて新しい魅力を発見しようと努めております。現在では、阿蘇に行く、というよりも、阿蘇に帰る、という表現がしっ

くりするほど、阿蘇に魅了されていると言っても過言ではありません。東京では新橋にある職場にありますが、職場の壁にも阿蘇のポスターを貼って、社内で阿蘇のPRをしております。

◇これまでの活動

それぞれの地域で、声をかけていただいた「まち」や「会」で、観光やもてなしに関するセミナーを担当いたしました。堅苦しいセミナーというのではなく、前後のざくばらんな話し合いの場もあり、それぞれの地域の方々とお会いできる機会をもらえることは何よりの喜びです。それぞれの特徴に合わせてお話をしておりますが、参加の皆さまからも、たくさんのお話をいただいています。阿蘇をより深く知ることにつながっています。

また、現在は旅館組合の女将の会の会合に参加の機会もいただいています。時には接客力の向上に向けての話し合い、さらに、個別



▲お話をさせていただいた後、お酒を飲みながらの談義が何より嬉しいです。(町2区商店街活性化整備事業第1回区民懇談会の様子)

に顧客対応の仕方などについても、一緒に考えながら解決策を模索しています。

女将の会は、この8月に女将カフェという形で内牧温泉街に新たなスポットを作りました。話し合いを重ね、実際に活動するにあたっての様々な課題の検討をしたり、悩んだりされている場に同席することもできました。オープンに至るまでには、大変なことであったと思います。多忙な女将さんが、お仕事をもちながらも、できる人ができることをと、時間のやりくりをしながら、訪れた人へのもて



おかみカフェ ゆうすげ



今年の8月、内牧に新しくオープンした
“おかみカフェゆうすげ”
内牧温泉旅館の女将さんたちが温かく迎えて
くれる「人に優しい」をテーマにしたカフェです。
まちの人と訪れた観光客との交流の場となる
ような店づくりを目指しています。



毎朝汲み上げる温泉水を使った“温泉水珈琲”。
温泉水成分も豊富に含んだ
まろやかな味わいです。



営業時間 11:00～15:00
定休日 月・金・土
*12席・駐車場有り

おかみカフェ ゆうすげ
☎ 32-0011
阿蘇市内牧 253 番地

なしをされていることに、深く敬意を表したいと思います。
また、担当されている女将の方々が、「うちだけ、来てもらう人を増やすのではなく、この阿蘇の地域に来てくれる人、好きになってくれる人を増やしたい」と、内牧の案内はもとより、阿蘇全域の観光の紹介をし、宮地の水基巡りのパンフレットを壁に貼るなど、阿蘇をより広く、多くの魅力を

伝えようとされていることも、訪れた人の満足度を高めることに繋がっていくと思います。
コーヒーカップを持ち寄り、今あるものをできるだけ活用して笑顔で「もてなしの場所」を作り上げ、その力を発揮し始めています。その活動を始めたこと自体も素晴らしいことですが、まず一つ、訪れた人をもてなす場所が出来たことも有り難く、これからも無理な

く女将の方々が楽しみながら事業を継続していけるよう、私も出来るだけのことでお手伝いをしたいと考えております。まちの人と訪れた観光客との交流の場になると良いと思っています。

◇阿蘇は素晴らしいところ！ さらに素晴らしく！

私は、現在阿蘇市の経済部商工観光課におります。主な仕事として、“訪れた人の満足度の向上”、“という点と”阿蘇の食に関する開発と向上を図ること“、という二点に取り組んでいます。要は、訪れた人をいかに阿蘇の地域全体の力でもてなすか、ということだと考えています。よって、訪れた人の満足度を高めることができるものがあれば、その全てに関係していくことが必要であり、勉強していかなくてはならないと思っています。
訪れた人は、その地域の空気を感じ、人と会話し、期待する食べ物を食べ、買いたいものを買ひ、

旅の時間の全てを通じてその土地の印象をお土産に持って帰ります。阿蘇市は、一の宮エリア、内牧エリア、波野エリア、坂梨エリア、その他も含め、それぞれのカラーが違います。その違うところが、素晴らしい宝物であると感じています。

阿蘇は広すぎて統一感がない、観光の目玉がない、今風ではない、等の話も聞きますが、それぞれのエリアが違うからこそ、何回訪れても新しい発見ができるといえます。そして、それぞれのエリアの中には、今あるものを活かせる部分はまだまだ、たくさんあると感じています。水、温泉、宿場の雰囲気、美味しい野菜・花・・・人が訪れたいと思う要素がたくさんある素晴らしいところですよ。阿蘇市として管轄している地域が広く、移動が不便ということは事実だと思いますが、現在も多くの観光客が自家用車、またはレンタカー等で移動していることを考えると、一度訪れた人が、再度訪れてくれる可能性は、充分にあります。

何より、人はどんなに不便なところでも、”行くに値する“と思った場所には必ず集まってきます。逆に考えれば、”行くに値しない“と思う場所は、たとえ便利な場所であっても人は訪れません。だからこそ、私たちは、どのような手段であれ今日訪れた人を、充分満足させるだけの価値があるだろうか、と考えなくてはならないのです。

お天気によって、日によって、一日の時間によって変化することの素晴らしさは、このカルデラの中に降り立ってこそその感動だと思います。自信を持って「阿蘇は本当に素晴らしいところですよ」と話していますが、もっともっと素敵なまちになるはずですよ。そのために何が必要なかをみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。その原点となるのは、”今できること”を今やってみる“ということだと思います。女将カフェは、お店のみではなく、向かいの駐車場の雑草を抜くというほんの少しの活動でずいぶん印象が変わりました。



スタッフの方が雑草を除草。雑草を抜いただけでもまちの雰囲気は変わりますね。今度はお花を植えたいです。



◇阿蘇の良さは知られているかどうか？

9月に観光学を学ぶ東京の学生が阿蘇に実習で来ました。ちょうど良い機会だったので学生から阿蘇の印象や、訪れてわかったことなど、自由に話してもらいました。若者らしい率直な意見をもらいましたが、その中でも一人の女子学生

が、「阿蘇に実習で参加することにしたときに思ったことは、”阿蘇って、火山しかないじゃない！”ということでした。でも、実際に実習で来たら、たくさん素晴らしいところがあつて、ぜひまた来たいと思いました」と話してくれました。

確かに、訪れたことのない人に阿蘇の話をする「阿蘇山って火山ですね」とだけのイメージの人はたくさんいます。「九州だから、暖かい山の温泉地ですね」とも言われます。

阿蘇は有名な観光地でありながら、そのふもとの阿蘇市の存在は、その観光地の名前ほどは、知られていないようです。私自身、阿蘇には観光で来たことがありませんが、火口以外のイメージはありませんでした。この外輪山にぐるりと囲まれたカルデラの中に立つたとき、この中に街があり、鉄道が走り、たくさんの人々が生活をしているという事実には驚かされました。この貴重な景色に触れた時の感動

はなかなか他の人に表現しようがありません。そのため、いろいろ説明を試みても難しく、最後は、「とにかく来て！一度このまちに立つて景色を眺めてみて！」というよりほかにありません。それほど、この景色は来て見ないとわからないものだと思います。おかげで「とにかく来る」友人・同僚も徐々に増えているのは嬉しい限りです。

最近「行ってきたよ」「良かったよ」と報告をしてくれるたびに、「今度は冬に来てね」「春の緑は素晴らしいよ」と必ず一言付け加えます。まちに人が訪れて消費活動を行ってもらうためには、リピートしてもらうことがとても重要です。しかし、繰り返し訪れてもらうためには、一度訪れた人が期待以上に満足し、かつ、さらにまだ見ない魅力を知ってもらうことが必要です。阿蘇の魅力は、その人が訪れた時季や物・場所以外にたくさん魅力がまだまだあるということを伝えていかなくてはなりません。



その「伝える」チャンスは、まちな人々にしかできないことであることはあまり理解されていません。

例えば、夏に訪れた人に、「今度は冬に来るとまた違った阿蘇の魅力がありますよ、古閑の滝というのがあって・・・」という何気ない会話があったならば、その人の心に「今でも素晴らしいところなのに、もっと違ったものがあるなら是非また来て見たい」という期待を生み出すのです。

阿蘇の魅力を伝え、わかってもらったならば、きつと訪れた人と楽しい会話のひと時を過ごすことができると思います。ぜひ声をかけて私たちが会話を楽しんできましよう。

◇これからめざしたいこと

これまでにたくさんの素晴らしい阿蘇を感じることができました。同時に、先に述べたような阿蘇ならではの法宝が、それぞれ独立独立あまり連携せずに存在しているこ

とを残念に思うことがあります。

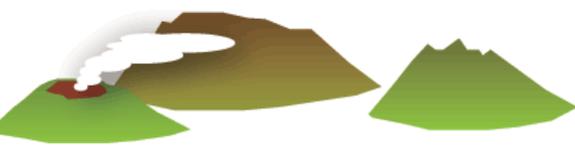
阿蘇を訪れようとする人は、大きく「阿蘇」という言葉をイメージして、その中で魅力的なところはあるのか、どこで何をするか、そのためにどう移動するのが効率的か、というそれぞれの「期待」を持つて旅に出て来ます。訪れる人にとっては、市であっても町であつてもその区分けは関係ありません。阿蘇ならではのモノやコト、阿蘇に来たからこそ味わえる食、空気、たくさんのお宝を際立たせていくことが必要でしょう。

そのためにも、それぞれのまちなある、それぞれの良さ（突出したその地域ならではのもの）に、まずは磨きをかけていきたいですね。他の成功した地域のまねをする必要はありません。良い点を取り入れ、学んでいくことは重要ですが、その地域ならではの部分大切にしていきたいと思ます。阿蘇らしさ、阿蘇が一番、阿蘇に出来ないし得られないもの、食べられないもの、それらの「良さ」

の「質」を高め、「他にない本物」を追求し続けていくことが、訪れた人にとつても、尽きぬ阿蘇の魅力を見出していくことに繋がります。もう一度私たちの身の回りを見回して「阿蘇」のオンリーワンを探してみようではありませんか。

今私が関心を持っているのは、

物語です。阿蘇五岳のうち、根子岳にひかれています。涅槃像は山を表現する素晴らしい形容ですが、「阿蘇の根子岳くらい、ネコにまつわる伝説が多い山はない」という話を聞きました。



日本むかし話の「やまのねこ屋敷」は有名ですが（絵本を買いました）、ほかにも「阿蘇の山には、猫の大王がいて、日本のネコたちは、7歳を過ぎるとみな修行に来る」という類のお話がとても素敵です。根子岳がネコの姿に見える場所があつ

たら是非見てみたいと思います。もしこの文章を読んでくださった方で、「ここから見る根子岳は猫大王に見えるよ!」というようなお勧めスポットがあったら是非教えてください。日本中のネコが修行しに集まる山・ネコの聖地・・・なんとワクワクする場所ではないでしょうか。

もし詳しくご存知の方がいらしたら、たくさんお話を聞いてみたいと思います。ぜひ声をかけてください。

また、阿蘇は山の自然が主な観光地であるため、どうしても女性を満足させる部分が少ないように感じています。もてなしのお話をする際も、参加者に女性が少ないと感じています。旅の主流は中高年の女性が多いことも事実です。阿蘇の魅力を目一杯楽しめる女性旅も模索していきたいですね。いろいろな阿蘇の女性とも話しをする機会を持ちたいと思います。まぢを元気にしようと思う女性の皆さん、ぜひ一緒に「女性目線の阿蘇の魅力」について語りましょう!